



健康維持と親睦の輪を深める 町長杯争奪ゲートボール大会 開催

5月25日、二本木グラウンドで、第5回横越町長杯争奪ゲートボール大会が開催されました。今回の参加チーム数は町内6チームで、最高齢の92歳の男性を含む30名余りが元気に参加。

この大会は、ゲートボールを通して楽しみながら健康維持と親睦を深めることを目的に毎年開催されており、午前中は各地区のチーム対抗戦で、日頃の練習の成果を発揮した熱戦が繰り広げられました。午後からは他地区の人たちとチームを組んで親善試合を行い、親睦を深めました。

対抗戦の結果は、優勝 二本木A、準優勝 二本木B、3位 横越、4位 沢海となり、優勝チームは二市中東蒲原郡地区の大会に出場することになっています。



交通事故のない安全なまちにしたい 小学生が手作りチラシをドライバーに配付

6月13日、横越小学校の4年生14名が、小学校近くの横雲通りで交通事故防止を呼びかけました。

子どもたちは、社会科学習のひとつとして交通安全についての勉強を4月から開始。これまでクラス全体で、駐在所の警察官や役場の職員から交通安全や交通事故などについて熱心に話を聞き、町内にポスターを貼るグループ、チラシを作るグループ、校内の窓に大きなスローガンを掲示するグループ、低学年の子どもたちに街頭指導するグループの4つに分かれて活動を進めてきました。

当日、子どもたちは、警察官、交通安全指導員などと一緒に車一台一台に止まってもらい、ドライバーに交通事故に注意してくださいと声をかけながら、手作りのチラシ300枚を配っていました。

梅雨・台風時の水害に備え

阿賀野川河川敷で4市町合同で水防訓練

6月3日、豊栄市高森地先の阿賀野川河川敷を会場に、阿賀野川水防連絡会下流ブロックの主催で水防訓練が実施されました。この訓練は、梅雨や台風時の豪雨による出水に備え、水防技術の向上や水防体制の強化を図る目的で、毎年この時期に行われています。

この日の訓練では、当町から浅見町長はじめ田村消防団長以下40名が参加し、新潟市・豊栄市・亀田町も含めて約210名が参加。団員たちは、縄の結び方や土のうの作り方といった基本訓練の後、木流し工法やTマット工法などの水防工法の技術について、幹部団員の指導のもと、他市町の団員たちとも協力し合い、一生懸命訓練に臨みました。



子どもたちを交通事故から守ろうと 小学校で自転車安全運転教室

6月8日、横越小学校で自転車安全運転教室が開催されました。この教室は、自転車の乗り方の実技学習などを通して、安全確認や交差点の横断などの交通ルールを正しく身につけ、子どもたちを交通事故から守ろうと毎年行われています。

グラウンドに、信号機や標識などを設けた模擬コースが設置され、4年生は交通安全指導員から、正しい自転車の乗り方の指導を受けながら練習したほか、警察官から自転車に乗る前の点検や自転車事故の原因などについて説明を受けました。その後1年生も加わり、ダミー人形による飛び出し実験を見学。人形が車にはねられる光景を見て、事故の恐ろしさを体験しました。



町をきれいにしたいとボランティア活動 横越町建設業協会が側溝を掃除

6月14日、町建設業協会によるボランティア活動として、中央保育園と中学校の側溝の掃除が行われました。

協会では日頃の感謝の気持ちを込めて、職場である地域をきれいにしたいということから昨年より掃除等のボランティア活動を始めました。当日は、協会に加盟する建設会社16社の社員や協会役員など約35名が駆けつけ、参加者たちは、側溝のフタを一枚一枚はがして、シャベルなどを使って泥や落ち葉などのゴミをきれいに除去。集まったゴミの量は2トンダンプ4台分にもなりました。

協会では、今後もボランティア活動を続けて、まちをきれいにしていきたいと語っていました。



子どもたちの健全育成について議論 第2回横越町教育シンポジウム開催

6月17日、子どもの健全育成を話し合う横越町教育シンポジウムが、サンウイング横越で開催されました。

2回目となる今回は、小中学校のPTA、育成会、地域自治会の役員、教職員、教育委員など80名が参加して、「地域子どもセンターの立ち上げをだれが、どうすすめたらよいか」（関連記事：広報今月号3ページ）を主題に、午前中、子どもセンターの趣旨説明が行われた後、4グループに分かれて意見交換。午後は各グループで話し合ったことを発表した後、4人のパネラーと参加者で意見のやり取りが行われ、地域子どもセンターのあり方や子どもたちの健全育成について考えました。



多くの友だちや家族、先生たちの声援のもと 小学校大運動会で子どもたち熱戦

5月30日、横越小学校グラウンドで、「赤白ともに勝利を夢見て」をスローガンに大運動会が開催され、熱戦が繰り広げられました。

全校児童約660名が赤組・白組に分かれて、綱引き、棒たおし、玉入れ、騎馬戦やリレーなど白熱したプレーを行ったほか、自分たちで考えた振り付けと大きな声飛び交う応援合戦も大変盛り上がり、学年を越えて力を合わせ、優勝を目指しがんばりました。

今年の結果は、白組が優勝。たくさんの友だちや家族、先生たちの声援のもと、子どもたちは汗を流しながら最後まで力を出し切り、グラウンドは熱気に包まれました。

